

(2) 令和6年度 学校評価 評価項目

静岡雙葉中学校・高等学校

教育理念	
本校は、次のような人間形成をめざしています。 1. 神に生かされている人間の神秘に気づいていく 2. 「イエス・キリストの似姿」として成長していく ●自分を表現しながら、真実の自分になっていくことによって ●人とのかかわりを通して、互いに生かし合うことによって ●自分で考え、自由に決断し、その責任をとることによって 3. 地球社会の一員として、共生と連帯を生きていく	
評価項目	
1	宗教教育の充実・精神性の涵養 ①宗教の授業、宗教行事(全校ミサ、黙想会、錬成会等)、聖堂での朝の祈り、朝礼時に聖歌を歌うことなど、これまでの伝統を大切にしつつ、現在の生徒の状況に合わせて丁寧に実施し、豊かな心を育む。 ②精神性を育むために、学年毎の1年間の経営計画に則って、多面的に活動する。
2	学習指導の充実・学力の向上 ①学年毎の教育計画、各教科の実践計画に基づき、計画的に教科教育を実施する。 ②基礎・基本の定着、授業中心の学習体制の確立により、学力の向上を図る。 ③観点別評価の方法を研究し、生徒の学習意欲をより高めることに役立てる。 ④生徒個人持ちのiPadやChromebookなどの端末や他のICT機器を有効に活用し、主体的学習や情報を収集整理し、発信する学習活動が行われるような授業展開について更に研究し、実践する。 ⑤知的好奇心を高めるため、また視野を広げるため、海外研修や、英語検定試験等の各種検定、大学が企画するセミナー、公開講座などへの積極的参加を促す。
3	自律性、社会性及び公共心の育成(生徒指導) ①基本的な生活習慣の確立に努める。 ②自律心、公共心及び社会的規範意識の育成を図るとともに、スマートフォンやインターネット、SNSを利用するときの注意点を、最新情報に基づいて学ぶ。 ③社会性、自治能力、自律心の育成を図るため、生徒会活動、委員会活動、学級・学年活動を充実させる。 ④豊かな精神性を培うため、福祉施設(クリスマス)訪問、ボランティア活動、各種献金活動を充実させる。
4	たくましく未来を切り拓く力の育成(進路指導) ①著名人や大学教授、先輩等による講演、校外のオープンセミナー、大学見学、海外研修、様々な体験活動等への生徒の積極的参加を促す。 ②大学入試に関する最新情報を把握し、生徒・保護者に的確な進路情報を提供する。 ③中三～高2の「コース制」の取り組みと中一、中二の総合学習の時間をまとめて振り返り、探究的な学びが6ヶ年を見通したものとなるよう、全教員が主体的に関わり、内容を更に良いものにする。
5	生命の安全確保 ①大規模災害に備え、総合的防災マニュアルを更に見直し、実践につなげる。 ②災害時、学校への宿泊を想定し、防災備品の更なる充実を図る。 ③年度計画に基づき、校内施設、設備の点検、特に防火設備、防災設備の点検を確実に行う。 ④防災訓練は、様々な場合を想定してより実践的のものとなるように工夫し、生徒の防災意識と危機対応能力の向上を図る。